

委員会調査報告書

令和8年3月24日

地域共生社会推進特別委員会

1 はじめに

少子化や社会構造の変化により、これまで地域の相互扶助や家族同士により行われてきた助け合いの関係性が薄れ、ひきこもりやひとり暮らしの高齢者の孤立化、生きがいの喪失などが課題となっている。

また、人々が抱える生活課題は多様化・複雑化しており、分野ごとに縦割りで整備された公的支援制度の下では対応が困難なケースが現れている。

地域共生社会の実現には、公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換や支援を受ける側を支援する側に育てるといった発想の転換が必要であるが、その理念が十分浸透しているとは言い難く、理解を深めながら実現に向けた取組を行っていく必要があると考える。

以上のことから、地域共生社会の推進について調査研究を行うため、令和6年第2回定例会において地域共生社会推進特別委員会を設置した。

以下、調査研究の概要について報告する。

2 調査活動の経過

No	期 日	内 容
1	R6.5.31	【本会議】 議員発議による地域共生社会推進特別委員会の設置 定数10名
		【特別委員会】 正副委員長の互選 委員長 野上 慎治 副委員長 松本 裕次郎
2	R6.6.21	【特別委員会】 (1) 今後の活動予定について 令和6年度、令和7年度の活動予定について協議した。 (2) 地域共生社会の概要について 地域共生社会の概要を把握するとともに先進地の取組事例について情報共有を図り、地域共生社会の実現を目指すうえでの基礎知識について共通理解を深めた。また、今後調査研究していきたい事項について委員から意見を聴取した。

No	期 日	内 容
3	R6. 7 月	<p>【参考図書の配付】</p> <p>宮本太郎氏著書「共生保障〈支え合い〉の戦略」を委員に配付</p>
4	R6. 9. 3	<p>【協議会】</p> <p>（１）君津市地域福祉計画について 執行部から、地域福祉計画の概要について説明を受けた。</p> <p>（２）君津市地域福祉活動計画について 君津市社会福協議会から、君津市地域福祉活動計画の概要や重層的支援体制整備事業に関する取組等について説明を受けた。</p>
5	R6. 11. 29	<p>【協議会】</p> <p>地区社会福祉協議会の取組について</p> <p>君津市社会福祉協議会及び市内の各地区社協福祉協議会（８地区）の代表者から、それぞれの地区社会福祉協議会での具体的な取組内容について説明を受け、活動をする上での問題点について意見を聴取した。</p>
6	R7. 3. 27	<p>【研修会】</p> <p>演題 「地域共生社会の実現に向けて」</p> <p>講師 淑徳大学 菅野 道生 教授</p> <p>地域共生社会推進に向けた国の政策の動向や地域福祉計画の点検にあたっての観点、自治会活動の担い手不足に関する先進的な取組事例などについて理解を深めた。</p>
7	R7. 5. 30	<p>【協議会】</p> <p>地域共生社会の実現に向けた課題について</p> <p>課題テーマにより３つのグループに分かれ、課題解決に向けたグループ討議を行った。</p> <p>○Aグループ 松本副委員長・小林委員・小倉委員 「地域の担い手づくりについて」</p> <p>○Bグループ 下田委員・大滝委員・林委員 「相談体制づくりや居場所づくりについて」</p> <p>○Cグループ 個別課題 「成年後見制度等、老後の安心づくり」野上委員長 「住まいのセーフティネット構築」高橋委員 「外国人との共生」大和委員</p>

No	期 日	内 容
8	R7.9.2	<p>【協議会】 地域共生社会の実現に向けた課題について（グループ討議） 各グループにおいて、進捗状況の共有や課題解決のための方策の検討、今後さらに調査・研究すべきことについて協議を行った。</p> <p>【参考図書の配付】 神野直彦氏著書「人間国家」への改革」を委員に配付</p>
9	R7.11.28	<p>【協議会】 地域共生社会の実現に向けた課題について（グループ討議） 各グループにおいて調査結果を共有し、市長への提言書に含めるべき提案事項について協議を行った。</p>
10	R8.2.13	<p>【特別委員会】 地域共生社会の実現に向けた課題について（グループ発表） 各グループにおいて調査した結果を発表し、研究成果を共有した。</p>
11	R8.3.12	<p>【特別委員会】 地域共生社会推進のための提言について 提言書（案）について、本特別委員会からの提言として市長に提出することを確認した。 また、委員会の調査報告書について、内容の確認を行った。</p> <p>【提言書手交式】 各グループからの提言をまとめた提言書を市長へ提出した。</p>

3 本特別委員会に係る経費

項 目	金 額
研修会講師謝礼	24,340円
委員費用弁償	4,530円
参考図書購入代	15,378円
合 計	44,248円

4 おわりに

本特別委員会では、執行部及び君津市社会福祉協議会から、地域共生社会を推進するための基本目標や取組内容について説明を受け、その後、地域福祉活動の中心的な役割を担う地区社会福祉協議会の役員からの意見聴取の場を設け、担い手不足や重い役員負担など、様々な問題を抱えている実態を把握した。

委員の活動としては、課題テーマを設定した3つのグループに分かれ、課題解決の糸口を探るため主体的に調査活動を進め、その成果を盛り込んだ提言書を市長に提出した。今回の調査活動を通じて把握した現状や課題、住民からの声をもとに、今後のそれぞれの議会活動や議員活動においても、地域共生社会を推進する一員として引き続き地域における協力の輪を広げていくことが望まれる。

なお、委員の方から「地域共生社会について取り組む先進地を見ることができなかったこと、委員会として何をするのか不明確だったことが残念である」との貴重な意見があったので、ここに付記する。

複雑化する地域課題の解決は、住民一人ひとりの力が結集することで成し遂げられるものである。互いに支え合い、共に生きる、このゆるやかなつながりを広げていくことが、誰もが安心して暮らしていける社会の構築につながっていく。

結びに、地域共生社会の実現に向け、今後、君津市地域共生社会推進プラン及び第四次君津市地域福祉活動計画に基づく様々な取組が着実に進められることを強く期待するものである。

地域共生社会推進特別委員会委員（令和8年3月時点）

野上 慎治	松本 裕次郎	小林 喜久男	下田 剣吾	高橋 健治
大滝 浩介	大和 ヒロシ	林 祥子	小倉 広紀	